

当面の期末手当闘争、参議院選挙闘争に全力を傾注しよう



号 外

No. 439

1992. 7. 14

三池炭 鋳
労働組合

電話 53-3033
炭電 528

保安を守り労働条件向上のために力をあわせてたたかおう

期末手当要求五十五万円満額獲得めざし

七月十三日より交渉はじまる

九二年度上期期末手当闘争は、人当り平均五十五万円を要求し、七月十三日より交渉を開始、中旬の解決をめざしてたたかわれます。今次期末手当闘争は、バブル崩壊による経済低迷の中でたたかわれていますが、他産業の妥結状況は連合六月末集計で、全国平均六十三万三千八百八十七円、伸び率一・七％増で解決しています。

この数年、炭鋳労働者の労働条件は他産業と比較した場合、格差が増大し、最低の条件となっています。とくに八次策以降、石炭政策の厳しさと生き残りを理由に、三年連続の合理化を強行し、大幅なコスト削減を実施したにもかかわらず、賃金、期末手当、福利・厚生など軒並みに低額回答を強要し、労働者の切実な要求を無視し続けています。

このような状況をふまえ、第九次石炭政策の初年度における期末手当の妥結結果は、今後の労働条件向上のためにかいに大きな影響を与えるばかりでなく、低賃金の生活を補填する意味においても、ぜひ満額獲得をめざさなければなりません。

「他産業との比較」

合理化と災害は最高、労働条件は最低

苛酷な地下産業に働く労働者にとって、ふさわしい労働条件、働きやすい環境、災害のない保安体制、人員削減を回避する経営努力などは、経営者としての当然の義務であると判断いたします。

しかし、過去の三池炭鋳の歴史は、旧態依然の経営体質や労働者に対する労務感覚から抜けだせないまま合理化と災害を繰り返し、社会的な批判を受ける結果となっています。

とくに、三井支配が永く続いた大牟田・荒尾の地場賃金は、福岡県内においても最低のランクに位置付けられ、福岡市内の条件と比較して賃金で五万円以上の格差があると言われています。したがって、地域で働く労働者の賃金は全体的に低い水準にあるのが実態であります。

三池労組は、産炭地域の活性化はまず三井の遊休地の開放を行ない、他企業を誘致し、労働条件の競合をはかることが大切であると考えています。そのためには、第九次石炭政策下の中で新分野開拓、経営の多角化による企業設立は、労働者の雇用条件が大きな鍵となることは間違いありません。

憲法違反の自衛隊派遣ノ一の一票を

七月二十六日投票日

第十六回参議院選挙が八日公示され、二十六日投票に向けて、十八日間の選挙戦が始まりました。今回の選挙は「自衛隊の海外派遣の是非について、国民の意思を表明する最初の機会」と位置付けし、国民の審判を求め、九〇年代におけるわが国の政治方向を決定づける極めて重要な意味をもつ選挙です。

目標は、自民党の議席を一つでも減らし、参議院における保革逆転を確実なものにすること、金権腐敗の政治を一掃し、政治改革をおこない平和と民主主義を守るために、福岡県選挙区「わたなべ四郎」、熊本県選挙区「川村あつ夫」の

92夏期期末手当妥結額(大牟田地区)

企業	妥結額
三井東庄化学	725,000円
三井三池製作所	491,000円
トーヨーサッシ	653,430円
三井金属三池製錬	683,291円
九州機工	683,291円
三井鋳山	600,500円
N T T 年間	1,710,000円

夏期一時金妥結状況(全国)6月末

部門	組合数	妥結平均
金属	226	659,538円
化学	183	666,572円
資源エネルギー	56	709,919円
ホテル、レジャー	6	712,767円
情報、出版	24	596,196円
商業、金融、保険	34	557,171円
繊維、食品	60	562,888円

当選をめざし、同時に比例区は「日本社会党」に投票していただきますよう、ご協力をお願い致します。

参議院選挙の投票方法

1番目の投票

(投票用紙は、クリーム(薄黄)色の紙に、黒で印刷してあります。)

参議院選挙区選挙

○
○
○
○

2番目の投票

(投票用紙は、白色の紙に、赤色で印刷してあります。)

参議院比例代表選挙

社会党